

フリーランス

## 一人親方にも入塾の門戸を開放します。

これまで大工志塾は、工務店の職員等である若手大工、見習い等を対象に人材育成をしてきましたが、令和7年度より、工務店に就業していない個人事業主の大工職人（いわゆる一人親方）へも入塾の道を開くことといたしました。

大工志塾独自の育成プログラムでは、独学では習得が難しい実践的な墨付け刻みの研修に力を入れており、工務店への所属の有無にかかわらず、伝統的な大工技術・技能、それに要する知識を身に付けることができます。これから墨付け刻みの大工の技でスキルアップしたい一人親方のみなさんの入塾をお待ちしております。なお、入塾の手続き等については募集要項をご覧ください。



認定講師制度について

## 大工志塾の講義以外でも学びたい人を支援します。

PR

大工志塾の講義・集合研修の時間以外に、大工技術の個別指導が可能な認定講師を紹介する「講師ライセンス制度」を開始しました。認定講師は主に大工志塾の講師経験者で、受講者のご要望に応じて伝統の大工の技を伝授します。一人親方など工務店で教わる機会のない大工職人が墨付け刻みを練習する際の個別指導もできます。

この制度は大工志塾とは別事業であり、受講者と認定講師が相談して指導内容を決め、講師に指導料金を直接お支払いいただくことになります。詳細は、大工志塾ホームページをご覧ください。



【認定カード】



【認定証】

### 入塾のご案内 ※お問合せは随時受付中

入塾資格	木造伝統構法に関する大工技術・技能の習得・継承に志を有する方を募集しています。 【工務店に就業している、もしくは入社予定の方】 工務店の職員（雇用保険等への加入等により、実際に就業していることが認められる者）等である若手大工、見習い等であること 【工務店に就業していない方】 個人事業主（いわゆる一人親方）で、一定の経験及び技量を有する大工職人等であること その他、「健康であること」および「入塾年度の前年度の末日において、満15歳以上であること（ただし、未成年の場合は、保護者が入塾に同意していること）」
募集人員	全国6教室（東京・名古屋・大阪・福岡・長野・新潟）で開講（予定） 各教室10名程度
授業料（年間）	初級・中級・上級 各30万円～ ※（注）消費税は別途加算になります。 ※工務店修業（OJT）を行う塾生と、行わない塾生（一人親方を含む）で授業料が異なります。詳しくは募集要項をご覧ください。 ※お支払方法については、募集要項をご覧ください。 ※授業料は、補助期間中の補助対象外経費のほか、補助事業期間外の塾運営費に充てられます。
指導報酬（年間）	工務店修業（OJT）を行う場合は、塾生の所属工務店と財団が役務契約を締結し、選定された指導棟梁から日常業務を通じて塾生に技術指導いただき、その指導報酬をお支払いします。（年間20万円）（注）消費税は別途加算になります。
入塾申込	次の書類を大工志塾事務局に請求の上、郵送によりご提出ください。 【工務店に就業している、もしくは入社予定の方】 毎年5月31日（必着） ①入塾願書 ②塾生推薦書兼所属工務店登録書 ③雇用保険被保険者証通知書（写し）あるいは在職又は就業内定を確認できる書類 【工務店に就業していない方】 面接日程の1週間前まで（必着） ①入塾願書 ※本人面接を実施させていただきます。面接日はホームページをご確認ください。 上記の応募書類等により入塾資格への適合を確認し、結果をお知らせします。
提出先	〒102-0083 東京都千代田区麹町3-7-7 セット東京ビル6F 一般財団法人住宅産業研修財団 大工志塾事務局 宛

**JAHO**

内閣府所轄  
1977年設立

Japan Housing Organization  
大工志塾事務局：一般財団法人住宅産業研修財団  
〒102-0083  
東京都千代田区麹町3-7-7 セット東京ビル6F  
TEL: 03-6273-2585 FAX: 03-6273-2595  
MAIL: daiku@jaho.or.jp  
登録番号: T6-0104-0500-6271

詳細はHPを  
ご覧ください  
Instagramも  
やっています!

<https://www.daikushijuku.com>

大工志塾

検索

大工志



ID: daikushiofficial

優良工務店の会 (QBC)



ID: yuryokomuten

YOUTUBE



伝統的な  
大工技術の継承

# 大工志塾

Carpentry Training School

先人たちの技と志を受け継ぐ。

世界に誇る日本の伝統木造建築。  
「大工志塾」は次世代を担う人材を育成し、  
技術・技能を未来へとつなぐ。





## 育成プログラム

### 01 教室講義 “座学”

大工職人には手先の技術に加え、様々な知識も必要とされます。大工志塾育成プログラムでは、木組みの架構を理解し、墨付けを意識した図面が描けるよう指導する講義の他、大工工事の納まりを左右するような取り付け部分について理解を深めるため、建物全体の基礎工事から内装工事までの施工の流れも学びます。その他にも、木材の性質や生産過程、日本の気候風土と住まいについて学ぶ講義や、「家づくり」の文化的・社会的意義を考える講義も実施します。日本の木造伝統構法に関する基本的な大工技術・技能を習得できるよう、技術的な指導はもちろん、木材の基礎知識や木造建築の文化的側面等についても学習できることが大工志塾の特長です。



- 「座学」学習科目  
※科目は変更となる場合がございます
- 家づくりとは何か
  - 日本の気候風土と住まい
  - 木材の知識
  - 山と木の話
  - 木造軸組住宅の施工
  - 木組みの架構



### 02 教室講義 “実技”

伝統構法の基本である「墨付け刻み」に重点を置いたプログラムを実施しています。各級で実施される墨付け刻みの講義では、実物の木材に墨を付けて刻むことで、墨付け刻みの技術を理解し、建物の各部分を認識できるよう指導していきます。また、道具の扱い方やメンテナンス方法を学ぶ講義や、鉋の使い方やフォーカスした木材の仕上げに関する講義も実施します。さらに、上級の講義では造作工事の詳細図を読み取り、納まりを実際に造り、加工図を描く技術を学びます。実践的な技術・技能とその深い理解を身につけ、将来は大工棟梁となるための土台をしっかりと身につけることができます。

- 「実技」学習科目  
※科目は変更となる場合がございます
- 大工の道具
  - 墨付け刻み
  - 造作の技術
  - 木材の仕上げ



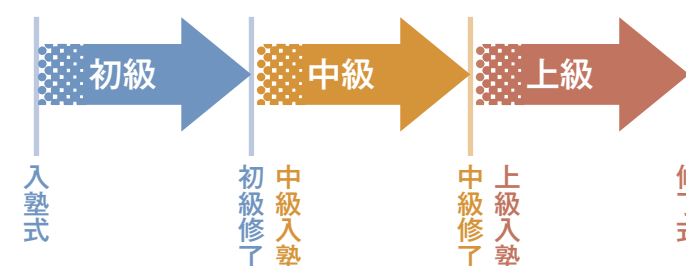
### 03 集合実技研修

年に一度、全国の各教室から塾生が1カ所の作業場に集合し、約1週間にわたり、伝統構法でつくる実物件の課題制作に取り組みます。講師の懇切丁寧な指導のもと、塾生は各自の習熟度に応じて割り当てられた担当部材の墨付け刻みをおこない、継手仕口の仮組み、手鉋による仕上げを経て、各々が製作した部材を集め、参加者全員で協力して建て方をおこないます。この集合実技研修を通して、塾生は墨付け刻みの実践的な技術だけでなく、役割分担やチームワークの重要性を学び、一生付き合っていく同志をつくるきっかけとなります。制作課題は級に応じてレベルアップしていきますので、おのずと塾生の技術レベルも向上していきます。塾生同士が互いに高め合い、自らの技術向上に集中して取り組むことができます。大工志塾の要と言える研修です。



## 修業年限

次世代を担う大工職人のための育成プログラムは、1年ごとに「初級・中級・上級」へとステップアップします。大工志塾は「初級」だけでも修了できますが、我が国が世界に誇る木造伝統構法の文化を継承いただくためには、「初級から上級まで全プログラム3年間」の受講を推奨しています。



「初級」では、継手・仕口の墨付け刻みなどの基礎的な大工技能、基礎的な木組みの架構に関する知識、大工道具の種類やメンテナンス方法などを学びます。「中級」では、棒隅木と桁の納まり、太鼓梁や登り梁の墨付け刻み等実践的な大工技能・知識、木造架構の構造的知識、林業や木材に関する知識などを学びます。「上級」ではさらにステップアップし、建物全体の架構の墨付け刻み、建具回りや階段の納まり詳細図・加工図の描き方、造作材の作り方・納まりなど、より高度な大工技能・知識を身につけます。

※「中級」「上級」からの途中入塾はできません。



### 修了生の声

**入塾**した頃は力もなく、わからないことばかりでしたが、一年ごとに行われる集合実技研修を通じて、自分の中に少しずつ自信が芽生えてきました。墨付け刻みをする大工は減っているのに、塾で学んできたことを無駄にせず、今後活かしていきたいです。大工は力がない女性でも段取りややり方次第でできる仕事です。女性大工を増やしていくためにも、私自身が刺激を与えられるような存在になっていきたいです。



堤 美月さん  
2021年6月修了

**日頃**の現場では先輩の技術や知識を教えてもらえることは少ない中、大工志塾には実技研修と座学があったので、とても身になりました。今後は注文されれば何でも建てられるような大工となり、さらには塾で自分が教えてもらったように、技術や知識を他者に伝えることができるような大工になりたいと思っています。



阿部 怜史さん  
2022年6月修了

**修了**制作では太鼓張りを担当させてもらいました。自社でも墨付け・刻みをしますが、梁の丸太や太鼓張りを扱う機会はなかったのを見ていて、技術力の高い人は刃物が良く切れていることに気づき、自分も刃物研ぎを日々練習していかなくてはならないなと思いました。棟梁として自分で一軒の家を建てられるようになることが近い将来の目標です。



森山 裕介さん  
2023年6月修了

**教**室講義・集合実技研修では、他の塾生と切磋琢磨して課題に取り組むことで、自分の実力の向上を実感しました。特に集合実技研修は、自社の現場でも手刻みをしているため、周りの仕事を見て非常に勉強になったので、これを活かして手刻みの精度を高めていきたいです。そして技術もそうですが、何よりも大きい事は、大工志塾を通して全国に仲間が出来たということだと思います。今後も同期の塾生とコミュニケーションを取ってお互いに高め合いたいです。



小久保 伸幸さん  
2024年6月修了

### 塾長挨拶

「技術を習得し、知識を蓄え、チャレンジを重ねることで、小さなものから大きな建物までつくり出すことができるようになる。」それが大工仕事です。

大工志塾は、年齢、住処、経験、経歴の異なる人たちが、「大工の技術・技能を身につけたい」という同じ志で集まって、お互いに切磋琢磨できる場です。共通の目標に向かって、自分の技を高め一生懸命に取り組むうちに、全国に仲間が増えていきます。大工志塾での経験は、きっと今後の大工人生を素晴らしいものにしてくれるでしょう。

日本の木造建築に継承されてきた伝統の大工技能を身に付けたい大工職人、自社の若手・見習い大工に伝統の技術・技能を学ばせたい工務店経営者、みなさまの大工志塾へのご参加をお待ちしております。

池尾 拓

